

## 第 6 学年 1 組 外国語科学習指導案

令和 3 年 6 月 15 日 (火) 3 校時  
指導者 横山 由佳・山根 史子

### 1. 単元名 「Welcome to Japan」

### 2. 単元目標

- (1) 日本の行事やそこでできることなどについて、聞いたり言ったりすることができる。
- (2) 日本の行事やそこでできることなどについて伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。
- (3) 他者に配慮しながら、日本の行事やそこでできることについて伝え合おうとする。

### 3. 単元計画 (全 8 時間)

- 第 1 時 アニメーション映像を通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。
- 第 2 時 季節や行事の言い方を知る。
- 第 3 時 季節ごとの日本の行事を紹介する表現に慣れる。
- 第 4 時 各地の行事でできることを伝える言い方を知る。
- 第 5 時 各地の行事でできることを紹介する表現に慣れる。
- 第 6 時 世界の祭りや行事に触れる。
- 第 7 時 紹介したい日本の行事などについて考え、紹介動画を撮る。
- 第 8 時 紹介動画をよりよくする。(本時)

### 4. ICT 活用の分類

ICT 機器	タブレット端末
アプリ	classroom JamBoard スプレッドシート
機能	動画撮影 書き込み 移動 削除など
活用場面	情報共有 課題発見 振り返り

### 5. 本時における ICT 活用による学びの「しやすさ」とは


本時の学習では、帰国された ALT に日本のことを思い出してもらうための動画を作成する中で、伝え方の課題を見付け、よりよく伝わるようにするための活動を通して、話す力の育成を目指している。

ICT 活用による学びの「しやすさ」として、他者を意識したコミュニケーションを考え整理する「しやすさ」をねらいとしていく。まず、それぞれの班で作成した日本の行事などの紹介動画を個人で確認する。一人一人が他の班が撮影した日本の紹介動画を手元で確認することにより、他者を意識したコミュニケーションとして、よいところや改善点を見付けやすくする。同時に、他の班へのコメントを書き込むことにより、その後の活動で自分たちの班の課題発見場面において、他の班の友達の意見を参考にすることができる。その結果、課題を多面的に発見しやすくなると考える。そして、書き込まれた改善点と自分たちが見付けた改善点を、JamBoard を使い、班で情報共有し整理することで考えをまとめる。それをもとにして、紹介するときの表現をさらに工夫することで、より他者を意識した紹介動画を作成することにつながると考える。最後に、撮り直した動画を共有することで、ねらいにせまる紹介になったか確認することができると考えている。

### 6. 本時目標

よりよい紹介動画にするための改善点を見出す活動を通して、内容や表現を改善しながら活動しようとする。(学びに向かう力・人間性等)

## 7. 本時の展開

<b>学習活動</b> <b>○発問</b> ・ 予想される子供の反応	<b>指導上の留意点と評価</b> <b>☆ICT 活用について</b> ◎指導上の留意点 評：評価
1. あいさつをする。 ○Let's start English. ・ Yes, let's. ○Hello everyone. How are you? ・ I'm fine/happy/good/sleepy... ○Warming up 曜日, 天気, 季節, 月, 日 ・ It's Tuesday. ・ It's sunny/cloudy/rainy/windy. ・ It's summer. ・ It's June 15 <sup>th</sup> .	◎ウォーミングアップとしてテンポよく発声したり, JTE とやり取りしたりすることで, 日常の簡単な表現に慣れ親しませる。
表現を工夫して、もっと伝わる紹介動画にしよう。	
2. 紹介動画を見て感想を伝え合う。 ○動画を見て, 伝え方でよいところやもっとこうすればよくなるということを発表しましょう。 (よい点) ・ はっきりと言っている。 ・ 笑顔で言っている。 (改善点) ・ 目線を合わせて言った方がよい。 ・ 写真を見せながら言った方がよい。 ○各班の動画を見て, よいところや改善点をコメントに書きましよう。	◎はじめに教師の動画を見てよいところや改善点を考えさせることで, 各班の動画を見るとき視点に気付かせる。 ◎改善点に気付かない場合は, JTE に尋ねることで, 相手を意識したコミュニケーションのポイントを思い出させる。 ☆ <b>ストリームにあがっている各班の動画を個別に見てコメントを書き込むことで, よいよ紹介にするための視点を広げる。</b>
	
3. 改善するところを話し合う。 ○友達の見意見を参考に, 改善点を話し合おう。 ・ ジェスチャーをつけて様子が分かるようにしよう。 ・ もう少し笑顔で伝えよう。	◎自分たちの動画を見返すだけでなく, 友達のコメントも参考にして改善点を考えることで, 多面的に考えさせる。 ☆ <b>よいところと改善点を JamBoard で共有することで考えを整理しながら話し合う。</b>



4. 動画撮影をする。  
○改善点を意識して、よりよい紹介を撮影しましょう。

5. 振返りをする。

◎他の班が映らないように、教室だけでなく、ワークスペースなども使って撮影させる。

評：話し合いをもとに、内容や表現を改善しながら活動しようとしている。（観察、振返り）

◎改善点を記した JamBoard と撮り直した動画を紹介することで、全体で共有する。

☆スプレッドシートを活用した振返りにより、効率よく活動を進めている。